

Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 評価の充実に関する目標を達成するための措置

- ・ 外部評価委員会を定期的に開催し、評価・助言を求める。
- ・ 運営懇談会を定期的に開催し、評価・助言を求める。

年度計画	
16 年度	運営懇談会の在り方について検討する。
16 年度実施内容	運営会議において、これまでの運営懇談会の成果を見直し、今後の運営懇談会の内容、開催時期、運営懇談会の出席メンバーなどについて検討した。
17 年度	運営懇談会の具体案を作成する。
17 年度実施内容	定期的開催に向けた準備を行った。
18 年度	運営懇談会を実施する。
18 年度実施内容	運営懇談会を実施し、自己点検・評価を行うと共に外部有識者から評価、助言を求めた。
19 年度年度計画	前年度の運営懇談会の意見や提案を踏まえて、改善の方針と実施計画の策定を行い、教授会に諮ってその推進を目指す。
達成度評価資料	教育学研究科HP 評価委員会資料

- ・ 自己点検・評価のためのデータ収集、ファイリング・システムを作成する。
- ・ 自己点検・自己評価の結果を客観的に審査するため、外部評価委員会を催す。

2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

- ・ 中期目標、中期計画を web のHP 上で公開する。

年度計画	
16 年度	情報公開についての検討委員会を設置する。
16 年度実施内容	総務委員会において、中期目標、中期計画の内容の確認と、HP 上で公開する場合の手順について検討した。
17 年度	具体案をまとめる。
17 年度実施内容	運営会議で方針を決め、教育ネットワーク研究室運営委員会で公開のための準備作業を行った。
18 年度	中期目標、中期計画を web のHP 上で公開する。
18 年度実施内容	認証評価との関連で、さらに内容を深めて検討した。
19 年度年度計画	中期目標・中期計画を web のHP 上で公開を進めて行く。
達成度評価資料	教育学研究科HP

- ・ 学部、研究科の広報冊子及び電子媒体により成果を公表する。

年度計画	
16 年度	成果公表についての具体案をまとめる。
16 年度実施内容	図書・広報・情報委員会において、研究年報を電子媒体化するための具体的手順について検討した。
17 年度	研究科年報において成果を公表する。
17 年度実施内容	図書委員会において研究科年報に掲載されている論文を電子媒体により公表する方法について検討し、著者から承諾が得られた論文を順次HP 上に公開する作業を進めた。
18 年度	研究科年報における論文のうち電子媒体によって公開する論文数を増加させる。
18 年度実施内容	1952 年創刊号から 2006 年まで研究科年報に掲載された論文のほぼ全てについて電子アーカイブに掲載し、研究成果と知的財産の有効活用を図った。
19 年度年度計画	前年度に引き続き、研究科年報への掲載論文を電子媒体によって公開して行く。
達成度評価資料	教育学研究科HP 図書委員会資料